平成28年度事務事業評価外部評価に対する市の対応策

	事務事業名	所管課	外部評価		市の対応策
			事業の方向性	意見	
1	農村公園維持管理事業	公園緑地課	改善	住民の憩いの場であると共に、地震等の有事の際に避難場所としての活用が期待されるが、事業開始から年月が経過しているため農村公園の名称について現状に即した名称を検討していただきたい。 また、公園の遊具については、避難場所としての利用や公園の管理もしやすくなることから設置を最小限にしていくよう検討していただきたい。	農村公園の名称変更については、長年地域で使われ又愛着感もあるため、現状のままの名称を継続します。 また、公園の遊具設置については、地元の意向を確認しながら維持費削減と利用実態も考慮して、広場的な利用を促していきます。
2	住宅・建築物安全ストック形成事業	都市計画課	拡大	大地震に対する関心は高まっており、防災の観点から必要な事業である。 今後は、耐震改修工事に対する補助金限度額の増額や耐震メニューの拡大を図っていただきたい。	補助金限度額の増額や耐震メニューの拡大については、国や県の動向を見極めながら拡充する方向で進めていきます。 また、現在の補助対象は住宅に限定していますが、減災面から店舗などへの補助拡大を図ります。
3	農業集落排水維持管理事業	下水道課	現状維持	農業用水の水質保全、農業集落排水の生活環境の改善に必要不可欠な事業である。 今後は、施設の老朽化に伴い、維持管理費が増大すると思われるので、流域下水道への接続を推進するとともに使用料の算定方法など、より安価になるよう検討していただきたい。	施設の老朽化に伴う維持管理費削減のため、積極的に公共下水道へ接続し、経費節減に努めます。
4	家庭ごみ計画収集事業	環境課	現状維持	市民生活にとって健全な生活環境と公衆衛生の保全のためには必要不可欠な事業である。今後は、ごみ問題に対する市民の参加意識やごみ出しのマナーを高めるために処理に係る費用やごみの排出量について、より一層のＰＲを行い、リサイクルに関する民間との連携等も検討しながらごみの減量化に努めていただきたい。	ごみ処理には多くの費用がかかりますが、リサイクル品については売却が見込まれることから、ごみ排出量の削減とリサイクル率の増加を図っていきます。 随時広報、イベント等で環境政策についてPRを行っているところですが、ごみ処理やリサイクルについて更に啓発していきます。
5	長寿お祝い事業	長寿介護課	現状維持	長年にわたり市の発展に貢献した高齢者に感謝の意を表する事業として定着しており、参加者が多く、かつ満足度の高い有意義な事業である。今後も継続して事業を実施していただきたい。	引き続き、本市の今日の発展に寄与していただいた高齢者に感謝の意を表する事業として、また高齢者の長寿を寿ぐための事業として実施していきます。